

## 第5回 北大阪急行線延伸技術検討会 議事要旨

### 1. 日時

平成29年9月7日(木) 午後2時00分～午後5時00分

### 2. 場所

C I V I 北梅田研修センター(大阪市北区芝田2-7-18 オエックス梅田新館5階)506号室

### 3. 出席者

#### (座長)

一般財団法人地域地盤環境研究所 代表理事 足立 紀尚

#### (構成員)

一般財団法人災害科学研究所 理事長 松井 保

京都大学大学院教授 竹村 恵二

京都大学大学院教授 木村 亮

京都大学教授 澤田 純男

独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構 大阪支社長 蓼沼 慶正

大阪市交通局長 塩谷 智弘

#### (オブザーバー)

大阪府 都市整備部 交通道路室 都市交通課長 佐藤 広章

大阪府 池田土木事務所長 友田 研也

(代理出席:大阪府 池田土木事務所 技術次長 松本 次朗)

箕面市 地域創造部 担当部長 仲井 信雄

阪急電鉄株式会社 都市交通事業本部 都市交通計画部 部長 奥野 昌弘

北大阪急行電鉄株式会社 常務取締役 延伸事業部長 神谷 昌平

以上、構成員7名 オブザーバー5名

## 4. 議 事

### (1) 報告事項 2-1 新箕面駅基礎杭の支持形式について

○高架構造物は、道路基準も適用した設計を行ったことにより、鉄道基準のみで設計した場合よりも部材寸法が大きくなる傾向となる。なお、新箕面駅高架部の摩擦杭区間は、前回の技術検討会の議論を踏まえ、同一構造物内の杭先端をできるだけ同じ土層で揃えるよう配慮されており、設計は妥当であることが確認された。

### (2) 報告事項 2-2 耐震設計（地震動観測、深層反射法、微動アレイ、詳細地震動作成）について

○延伸区間について詳細な地盤調査結果をもとに詳細な地震動を作成し、構造物を対象に耐震性を照査した結果、安全性が確保された構造となっていることが確認された。

### (3) 検討事項 3-1 開削トンネル区間の新船場北橋橋台仮受け方法について

○仮受け方法の設計及び施工計画が妥当であることが確認された。なお、掘削に伴う杭露出時には、杭の健全性について調査し、必要に応じて対策工を検討するべきである。

あわせて、掘削範囲の分割方法についても橋台の変位計測や杭の健全性を考慮したうえで、範囲・方法を決め十分注意しながら施工を進めるべきである。

○新設躯体への橋台受替えについて、安定性の余裕をより大きくするために、台座コンクリートの上床版載荷範囲等について検討することが望ましい。

### (4) 報告事項 2-3 シールドトンネル区間に対する前回課題の検討状況について 検討事項 3-2 シールドトンネル到達部の施工方針について(案)

○到達部の支障物件（H鋼等）の撤去については、支障物の有無及び位置の確認が重要であるため、千里中央駅施工時の写真や、今回の調査結果を踏まえ、状況を詳細に把握するべきである。

○支障物撤去時は、地盤改良が必要となる事が想定されるため、各関係先の協力を得ながら、地盤改良工法の検討を進めるべきである。なお、工法の変更を要する場合に備え、代替案の検討も併せて行うべきである。

以 上